



Cisco Nexus Dashboard Insights
ジャーニーおよびグローバルビュー、リリース
6.5.1 - Cisco ACI 向け

目次

新規情報および変更情報	2
概要	3
ジャーニー	3
グローバルビュー	4
Nexus Dashboard Insightsのタイムゾーンの設定	7
カスタムダッシュボード	8
カスタムダッシュボード	8
マルチクラスタ接続.....	9
マルチクラスタ接続.....	9
注意事項と制約事項.....	12
著作権.....	14

初版：2024 年 7 月 16 日

米国本社

Cisco Systems, Inc.

170 West Tasman Drive

San Jose, CA 95134-1706

USA

<http://www.cisco.com>

Tel: 408 526-4000

800 553-NETS (6387)

Fax : 408 527-0883

新規情報および変更情報

次の表は、最新リリースまでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、本リリースまでの変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

Cisco Nexus Dashboard Insights の新機能と変更された動作

特長	説明	リリース	参照先
技術変更	「サイト」という言葉は「ファブリック」に変更されました。	6.5.1	ドキュメント全体

このドキュメントは、Cisco Nexus Dashboard Insights のGUI およびオンラインで www.cisco.com で入手できます。本書の最新バージョンに関しては、「[Cisco Nexus Dashboard Insights](#)」の「[Documentation](#)」を参照してください。

概要

ジャーニー

Nexus Dashboard Insights で、ジャーニー マップを使用して開始します。[概要 (Overview)]、[グローバル ビュー (Global View)]、[ジャーニー：はじめに (Journey: Getting Started)] の順に選択して、ジャーニー マップにアクセスします。

Nexus Dashboard Insightsのジャーニーで遭遇するさまざまなマイルストーンについて学びましょう。

Nexus Dashboard Insights に初めてログインするときは、[Meet Nexus Dashboard Insights] をクリックします。ここでは、いくつかの用語を紹介し、いくつかの機能について順を追って説明し、Dashboard Insights が提供する必要があります。You're ready! ページが表示されるまで続行します。

最後に、[ジャーニー マップ: スタートアップ ガイド]が表示されます。ここまでで、マップの最初のステップは完了しています。各手順を完了すると、次に完了する手順がマップに表示されます。[マイ進捗状況 (My Progress)] には、タスクの割合と完了したステップ数として進捗状況が表示されます。

[詳細情報 (Tell Me More)] をクリックすると、各手順で実行する内容の簡単な説明が表示

されます。[移動 (Go)] をクリックして、セクションに直接移動します。

次のセクションは、Nexus Dashboard Insights の使用を開始するプロセスのさまざまな手順を理解するのに役立ちます。

- **Meet Insights** : Nexus Dashboard Insights の紹介
- ファブリックで **Insights** を有効にする (**Enable Insights on your Fabrics**) : ファブリックをオンボードして有効にします。
- ファブリックの詳細: この手順を活用して、Nexus Dashboard Insights でファブリックを最適化する準備ができていることを確認します。テレメトリ ストリーミングと適切なソフトウェアバージョンがない場合、ファブリックの詳細の一部としてアドバイザリと基本的なインベントリ情報のみが取得されます。トポロジ、異常、サステナビリティなどを見逃さないようにしてください。この手順は、少なくとも 1 つのファブリックを追加した後にアクセスできます。
- グローバル ビュー: すべてのファブリックの概要ビュー。この手順は、少なくとも 1 つのファブリックを追加した後にアクセスできます。最初のファブリックを追加すると、Nexus Dashboard Insights を起動するたびに [グローバル ビュー (Global ビュー)] がデフォルトのタブになります。
- トポロジ: エンドポイント、ファブリック、スイッチ、およびそれらの間のリンクを可視化します。この手順は、少なくとも 1 つのファブリックを追加した後にアクセスできます。
- すべての設定が完了しました。ジャーニーが完了すると、すべて設定されます。これで、自分で探索を続けることができます。

最初のファブリックを追加すると、Nexus Dashboard Insightsを起動するたびに[グローバルビュー (Global ビュー)] が default のタブになります。詳細については、「[グローバル ビュー](#)」を参照してください。

グローバルビュー

Nexus Dashboard Insights グローバル ビューは、すべてのファブリックの詳細と主要な正常性メトリックを 1 か所に表示します。[概要 (Overview)] > [グローバル ビュー (Global View)] に移動します。Nexus Dashboard Insights は、ファブリックの正常性からトラフィックまで、最も重要な詳細をすべてグローバル ビューに集約するのに役立ちます。

最初のファブリックを追加と、Nexus Dashboard Insights を起動するたびに グローバル ビューが最初のビューになります。すべてのファブリックと主要な正常性メトリックのグローバル ネットワーク インフラストラクチャの概要を確認できます。Nexus Dashboard Insightsは、ファブリックの正常性からインベントリの使用まで、最も重要な詳細を集約し、スクロール ダウンすることですべてにアクセスするのに役立ちます。

マルチクラスタ展開については、「[マルチクラスタ接続](#)」を参照してください。

グローバルビューには、[オンライン ファブリック (Online Fabrics)] と [スナップショット ファブリック (Snapshot Fabrics)] の 2 つのビューがあります。マップには、各ロケーションのファブリックの物理的なロケーションと合計数、およびそれらの名前が視覚的に表示されます。いずれかのロケーションにファブリックが 1 つしかない場合は、ファブリックの名前とタイプが表示されますが、場所に複数のファブリックがある場合は、ファブリックの合計数のみが表示されます。その特定のロケーションのファブリックのリストは、表示された数字にカーソルを合わせると表示できます。ファブリックをクリックしてそのファブリックの詳細を表示するか、[ファブリック] エリアまで下にスクロールしてファブリックに移動します。ページのズーム コントロール アイコンを使用して、マップの表示を変更することもできます。

マップのすぐ下に、ファブリックに関するより多くの集約情報が表示されます。

[異常レベル クリティカル (Anomaly Level Critical)] は、その時点で最大レベルの重大度であるファブリック全体の異常の集約数を示します (先週の発生数を含む)。異常を一目で確認することも、カードをクリックして詳細を表示することもできます。[すべての異常を表示 (View all anomalies)] をクリックすると、重大度が異なるすべての異常を表示できます。

[アドバイザリ レベル クリティカル (Advisory Level Critical)] には、その時点で最大レベルの重大度であるファブリック全体のアドバイザリの集約数が表示されます。アドバイザリを一目で確認することも、カードをクリックして詳細を表示することもできます。[すべてのアドバイザリの表示 (View all advisories)] をクリックすると、さまざまな重大度のすべてのアドバイザリを表示できます。(注)



異常レベルの重大およびアドバイザリレベルの重大は、スナップショット ファブリックでは使用できません。

さらに表示するには、グローバル ビューで下にスクロールし続けます。集約された情報からさらに下にスクロールすると、総ファブリックのうち異常があるファブリックの数と、クリティカルレベルの異常があるファブリックの数を確認できます。

この下には、個々のファブリックの概要が表示されます。これには、異常およびアドバイザリの正常性レベル、過去 1 週間に転送されたデータの合計を含む外部トラフィック、エンドポイントおよびレイヤー 3 ネイバーの接続データ、およびそのファブリックのコントローラーとスイッチの合計数を含むインベントリ データが含まれます。特定のファブリックの詳細を表示するには、[ファブリックの詳細 (Fabric Details)] をクリックします。「[ファブリック](#)」を参照



接続データはスナップショット ファブリックでは使用できません。

[異常 (Anomalies)] エリアには、異常の数と傾向に関する詳細が表示されます。アドバイザリ エリアに

は、アドバイザリの数と傾向に関する詳細が表示されます。[異常とアドバイザリ](#)

各ファブリックの概要の下に、異常とアドバイザリのトレンド チャートを表示できるようになりました。いずれかをクリックすると、過去 7 日間の傾向が表示されます。Now バーは、

現用系の重大度ごとの異常の数を説明します。重大度には、[クリティカル (Critical)]、[メジャー (Major)]、[警告 (Warning)]、および [正常 (Healthy)] があります。バーにカーソルを合わせると表示されます。

過去 6 日間のバーには、その日の終わりまでに現用系だった異常の数が表示されます。したがって、昨日の午前 8 時に 2 つのクリティカルと 3 つの警告があり、午後 11 時 59 分までに 1 つのクリティカルと 1 つの警告があった場合、昨日のバーには 1 つのクリティカルと 1 つの警告がありました。

また、異常またはアドバイザリの全体的な傾向が上昇または下降しているかどうかでも示されます。



トレンド チャートはスナップショット ファブリックでは使用できません。

ファブリックが過去 7 日間に送受信した外部トラフィックを確認できます。では、トラフィックを送受信するファブリックの合計数が示されます。ドーナツは、各ファブリックで送受信されたトラフィックの量を表示するのに役立ちます。情報アイコンをクリックすると、外部トラフィックの詳細と、さまざまなタイプのファブリックでの外部トラフィックの測定方法に関する詳細情報が表示されます。

インベントリには、コントローラ、スイッチ、ソフトウェア、および適合のインベントリのステータスが表示されます。メッセージには、ハードウェアに関連する警告や、ソフトウェアに更新が必要かどうかが含まれることがあります。[インベントリを開く (**Open Inventory**)] をクリックして詳細情報を表示します。「[インベントリ \(Inventory\)](#)」を参照してください。

確認が完了しました！これで、グローバルビューの内容はすべて完了です。Nexus Dashboard Insights の他のセクションで詳細情報を参照してください。

Nexus Dashboard Insightsのタイムゾーンの設定

デフォルトでは、Nexus Dashboard InsightsのGUIには、ユーザーのローカルタイムゾーンの日付と時刻が表示されます。Nexus Dashboard 管理コンソールでタイム ゾーン設定を別のタイムゾーンに構成できます。タイムゾーン機能はユーザーごとに利用でき、ユーザー設定に保存されます。

選択したタイムゾーンは、GUIに表示される時間値に反映されます。GUIに表示されるすべての検出タイムラインとタイムスタンプには、選択したタイムゾーンの時間値が反映されます。

手順

1. Nexus Dashboard の [管理コンソール (Admin Console)] にログインします。
2. ウィンドウの右上隅にあるユーザー アイコンをクリックし、[ユーザー設定 (User preferences)] を選択します。
3. [ユーザー設定 (User Preferences)] ページの [タイムゾーン (Time Zone)] エリアでは、デフォルトのタイムゾーン値として [自動 (Automatic)] が選択されています。

これは、ユーザーのローカルタイムゾーンです。

4. [タイムゾーン設定 (Time Zone Preference)] フィールドで、[手動 (Manual)] を選択します。
5. [最寄りの都市 (Nearest City)] フィールドに、希望する都市を入力して、[タイムゾーン (Time Zone)] フィールドに適切な値を設定します。

または、地図内で選択した都市にピンをドラッグすると、[最寄りの都市 (Nearest City)] と [タイムゾーン (Time Zone)] のフィールドに入力されます。

6. [保存 (Save)] をクリックします。

選択したタイムゾーンは、Nexus Dashboard InsightsのGUIに表示される時間値に反映されます。Nexus Dashboard InsightsのGUIに表示されるすべての検出タイムラインとタイムスタンプには、選択したタイムゾーンの時間値が反映されます。

カスタムダッシュボード

カスタムダッシュボード

カスタム ダッシュボードを使用すると、すべてのアイデアを 1 か所で整理して収集できます。カスタムダッシュボードを作成し、カスタム ダッシュボードにウィジェットを追加します。カスタム ダッシュボードには、ダッシュボードに各ウィジェットに関するトップレベルの情報が表示されます。

カスタムダッシュボードの作成

1. [概要 (Overview)] > [カスタムダッシュボード (Custom Dashboards)] > [新しいダッシュボードの追加 (Add New Dashboard)] に移動します。
2. [では始めましょう (Let's Get Started)] をクリックします。
3. [名前 (Name)] と [説明 (Description)] に入力します。
4. [次のステップ (Next step)] > [ダッシュボードに移動 (Go to my Dashboard)] の順にクリックします。
5. カスタム ダッシュボードにピン留めするページに移動します。
6. 特定のオブジェクトを選択して詳細ページを表示します。
7. ピンアイコンをクリックします。
8. 該当するダッシュボードを選択します。
9. [保存 (Save)] をクリックします。

カスタムダッシュボードに追加されたウィジェットのビュー

1. [概要 (Overview)] > [カスタムダッシュボード (Custom Dashboards)] に移動します。
2. ピン留めされたビューをクリックします。

カスタムダッシュボードの各ビューには、特定のノードについてユーザーが選択した時間範囲を含む、ページのスナップショット全体が保存されます。

カスタムダッシュボードからのウィジェットの削除

1. [概要 (Overview)] > [カスタムダッシュボード (Custom Dashboards)] に移動します。
2. カスタムダッシュボードでピン留めされたウィジェットをセレクトします。
3. カスタムダッシュボードからウィジェットを削除するには、省略記号アイコンをクリックします。

マルチクラスタ接続

マルチクラスタ接続

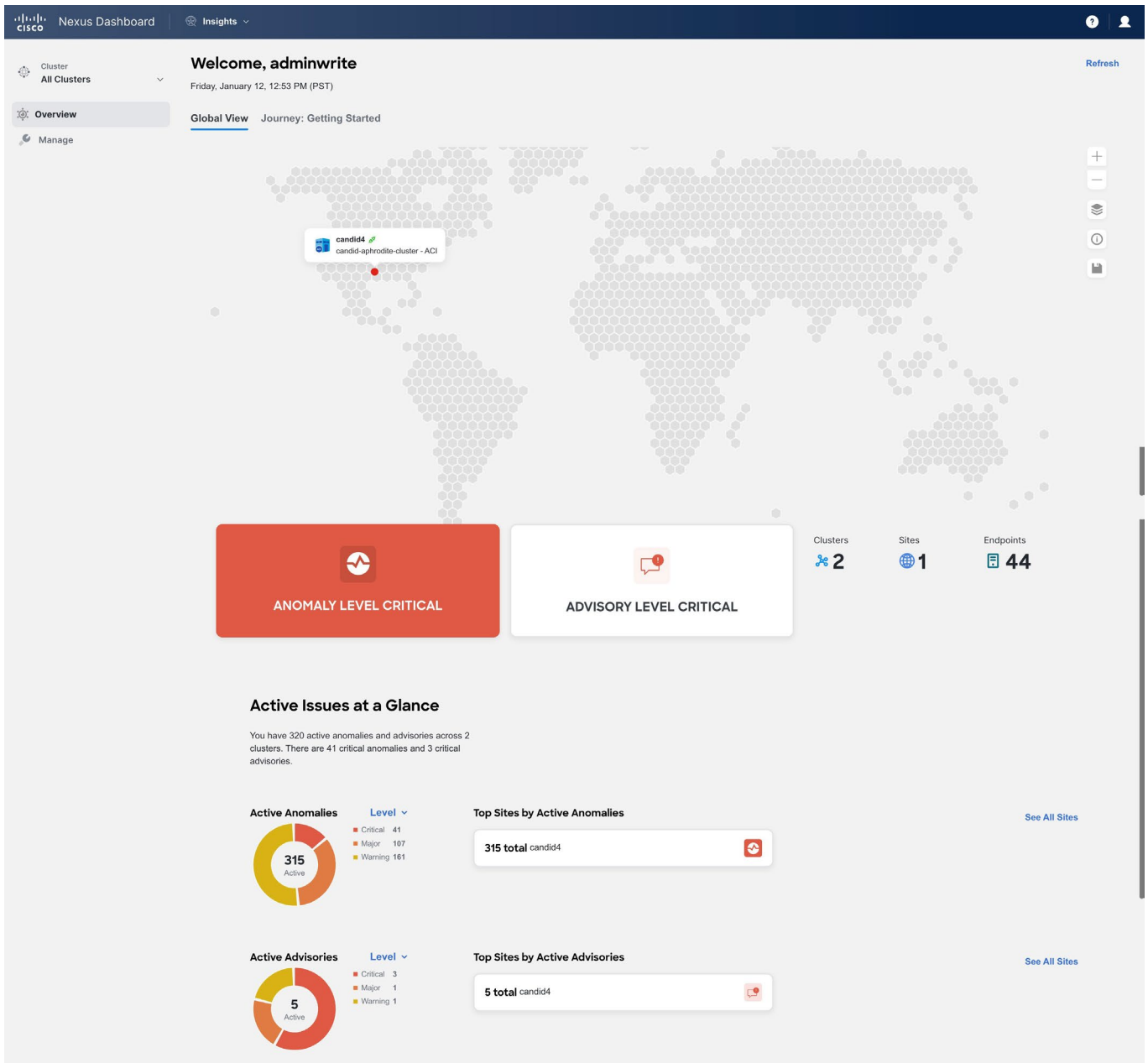
Cisco Nexus Dashboard の [マルチクラスタ接続 (Multi-cluster Connectivity)] タブでは、複数のクラスタをまとめて接続し、単一のペインでクラスタとそのファブリック、サービス、設定を表示、管理できます。2番目のクラスタを追加すると、クラスタのグループが形成されます。グループの作成元のクラスタはプライマリ クラスタとなり、グループ内の他のクラスタには適用されない多くの固有の特性を持ちます。

マルチクラスタ接続の詳細については、『[Cisco Nexus Dashboard インフラストラクチャ管理](#)』を参照してください。

マルチクラスタ接続の表示

Nexus Dashboard Insightsでは、[クラスタ (Cluster)] ドロップダウンに現在表示されているクラスタの名前が表示されます。これはマルチクラスタ展開でのみ有効になり、接続されている別のクラスタにすばやく切り替えることができます。

Nexus Dashboard Insights のグローバル ビューには、すべてのファブリックの詳細、クラスタ名、および主要な正常性メトリックが 1 か所に表示されます。



[概要 (Overview)] > [グローバル ビュー (Global View)] に移動して、グローバル ビューにアクセスします。Nexus Dashboard Insights は、ファブリックの正常性から現用系問題まで、最も重要な詳細を集約し、下にスクロールすることですべてにアクセスするのに役立ちます。

マップには、各ロケーションのファブリックの物理的なロケーションと合計数、およびそれらの名前が視覚的に表示されます。いずれかの場所にファブリックが 1 つしかない場合は、ファブリックの名前とタイプが表示されますが、場所に複数のファブリックがある場合は、ファブリックの合計数のみが表示されます。その特定の場所のファブリックのリストは、表示された番号にカーソルを合わせると表示できます。ページのズーム コントロール アイコンを使用して、マップの表示を変更することもできます。

- ・ ファブリックをクリックすると、クラスタのそのファブリックのサマリー詳細が表示されます。また、以下のとおりに移動することもできます。

[管理 (Manage)] > [ファブリック (Fabrics)] を選択して、クラスタのすべてのファブリックを表示します。

- ・ [アクション (Actions)] メニューから、[詳細の表示 (View Details)] を選択して、追加の詳細の概要、インベントリ、接続、異常、アドバイザリ、および統合を表示します。このビューでは、ファブリックに対して操作を実行できません。

- ・ [クラスタで表示 (View in Cluster)] をクリックして、[今すぐ分析 (Analyze now)]、[ファブリックの編集 (編集 Fabric)]、[データ収集の一時停止 (Pause Data Collection)] などの操作をファブ

リックで実行します。「[ファブリック](#)」を参照してください。

Anomaly Level Critical は、その時点での最大レベルのシビラティでのファブリック全体の異常の集約数を示します。カードをクリックすると、クラスタのすべてのファブリックの異常を表示できます。ファブリック名をクリックすると、重大度が異なるすべての異常が表示されます。

Advisory Level Critical は、その時点で最大レベルの重大度であるファブリック全体のアドバイザリの集約数を示します。カードをクリックすると、クラスタのすべてのファブリックのアドバイザリを表示できます。ファブリック名をクリックすると、さまざまな重大度のすべてのアドバイザリが表示されます。



異常レベルのクリティカルおよびアドバイザリ レベルのクリティカルは、スナップショット ファブリックでは使用できません。

[**アドバイザリ レベルクリティカル (Advisory Level Critical)**] の横に、クラスタ、ファブリック、およびエンドポイントの合計数が表示されます。

さらに表示するには、グローバル ビューで下にスクロールし続けます。[**現用系の問題の概要 (Active Issues at a Glance)**] エリアには、クラスタ全体の現用系異常とアドバイザリが表示されます。

- ・ [現用系の異常 (Active Anomalies)] エリアで、ドロップダウン リストを使用して、レベルまたはカテゴリごとに現用系異常を表示します。[現用系の異常別の上位ファブリック (Top Fabrics by Active Anomalies)] で、選択したファブリックの異常を表示するファブリックをクリックします。[すべてのファブリックを表示 (**See All Fabrics**)] をクリックすると、クラスタのすべてのファブリックの異常が表示されます。ファブリック名をクリックすると、重大度が異なるすべての異常が表示されます。
- ・ [現用系のアドバイザリ (Active Advisories)] エリアで、ドロップダウンリストを使用して、レベルまたはカテゴリごとに現用系なアドバイザリを表示します。[現用系のアドバイザリ別の上位ファブリック (Top Fabrics by Active Advisories)] をクリックして、選択したファブリックの異常を表示します。[すべてのファブリックを表示 (**See All Fabrics**)] をクリックすると、クラスタのすべてのファブリックのアドバイザリが表示されます。ファブリック名をクリックすると、さまざまな重大度のすべてのアドバイザリが表示されます。

「[異常とアドバイザリ](#)」を参照します。

確認が完了しました！これで、グローバル ビューの内容はすべて完了です。詳細を確認するためには、Nexus Dashboard Insights の他のセクションで詳細情報を参照してください。

注意事項と制約事項

- ・ 一緒に接続する予定のクラスタにオンボーディングされたファブリックの名前は、それらのクラスタ全体で一意である必要があります。
- ・ 重複ファブリック名がある場合は、ファブリックを削除し、Nexus Dashboard の管理コンソールで別の名前新しいファブリックを作成する必要があります。
- ・ マルチクラスタ接続は、リモートユーザーに対してのみサポートされます。
- ・ Nexus Dashboard Insights サービスをホストする Nexus Dashboard クラスタとNDFCサービスをホストするNexus Dashboardクラスタ間のマルチクラスタ接続は、NDFC によって管理される少なくとも1つのファブリックが Nexus Dashboard Insights によっても運用されている場合、サポートされません。
- ・ マルチクラスタ接続は、Nexus Dashboard Insights リリース 6.3.1.40 以降でサポートされています。
- ・ クラスタを Nexus Dashboard Insights リリース 6.4.1 にアップグレードすると、他のクラスタが実行

されているとき、Nexus Dashboard Insights 6.3.1.15 リリースを実行している場合、マルチクラスタ接続はサポートされません。ただし、他のクラスタがNexus Dashboard Insightsリリース6.3.1.40 以降を実行している場合は、マルチクラスタ接続がサポートされます。

- マルチクラスタ接続規模の制限：
 - マルチクラスタ接続をピア接続されたクラスタ：12
 - マルチクラスタ接続をピア接続されたすべてのクラスタのファブリック - 40
 - マルチクラスタ接続をピア接続されたすべてのクラスタのスイッチ - 3000

著作権

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任となります。

対象製品のソフトウェア ライセンスと限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されており、この参照により本マニュアルに組み込まれるものとします。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または黙示のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザインターフェイスにハードコードされている言語、RFP のドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。

Cisco および Cisco のロゴは、Cisco またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> でご確認いただけます。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナー関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)。

© 2017-2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.